

# 平成26年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	和歌山県		市町村類型	II-1		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)		
						財政健全化等	×	歳入総額	24,782,641			25,269,911	実質収支比率			5.2	2.8
市町村名	海南市		地方交付税種地	1-3	財源超過	×	歳出総額	23,959,820	24,770,726	経常収支比率	94.5	92.1	(※1) (103.3) (100.7)	14,308,338	14,186,484		
					首都	×	歳入歳出差引	822,821	499,185	標準財政規模	0.60	0.60					
					近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	71,740	101,932	財政力指数	19.8	20.7					
					中部	×	実質収支	751,081	397,253	公債費負担比率	-	-					
人口	22年国調(人)	54,783	産業構造(※5)			過疎	×	積立金	3,299	2,655	健全化判断比率	-	-	2.4	-		
	17年国調(人)	57,744				山振	×	繰上償還金	-	204,587	実質赤字比率	-	-				
	増減率(%)	-5.1				低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	54,100	第1次	22年国調	2,458	17年国調	2,797	指数表選定	○	357,127	341,930	実質公債費比率	11.3	12.4	将来負担比率 111.3 109.8	-	
	うち日本人(人)	53,912		10.2	10.6	基準財政収入額	6,206,542	6,250,099	基準財政需要額	10,587,151	10,376,224	病院事業会計	-	-			
	26.01.01(人)	54,643	第2次	うち日本人(人)	6,433	7,377	標準税収入額等	8,033,231	8,110,371	経常経費充当一般財源等	13,519,910	13,094,914	歳入一般財源等	16,556,139			16,253,053
	増減率(%)	-1.3		26.7	28.1	地方債現在高	33,045,195	32,066,866	うち公的資金	24,256,057	21,872,664	債務負担行為額(支出予定額)	1,335,090	1,860,860			
	うち日本人(%)	-1.3	第3次	15,223	16,052	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	-	-	財政調整基金	2,196,413	1,903,114			
	面積(km <sup>2</sup> )	101.06		63.1	61.1	積立金現在高	379,019	258,574	減債基金	1,444,127	1,437,454	その他特定目的基金	-	-			
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	542	世帯数(世帯)	20,750	職員数の状況													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)									
	市区町村長	1	8,900		一般職員	423	1,346,409	3,183									
	副市区町村長	1	7,450		うち消防職員	91	280,917	3,087									
	教育長	1	6,500		うち技能労務職員	23	80,500	3,500									
	議会議長	1	5,400		教育公務員	50	158,495	3,170									
	議会副議長	1	4,800		臨時職員	-	-	-									
	議会議員	20	4,400		合計	473	1,504,904	3,182									
						ラスバイレス指数			97.0								
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧						
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名			(※3)			
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(7)	水道事業会計	(9)	簡易水道事業特別会計	(11)	泉市町村総合事務組合	(20)	株式会社まちづくり海南						
(2)	地域排水処理事業特別会計	(5)	介護保険特別会計	(8)	病院事業会計	(10)	港湾施設事業特別会計	(12)	国民健康保険野上厚生病院組合								
(3)	同対策住宅資金貸付事業特別会計	(6)	後期高齢者医療特別会計					(13)	海南海草老人福祉施設事務組合								
								(14)	海南海草環境衛生施設組合								
								(15)	五色台広域施設組合								
								(16)	和歌山地方税回収機構								
								(17)	和歌山県後期高齢者医療広域連合(一般会計)								
								(18)	和歌山県後期高齢者医療広域連合(特別会計)								
								(19)	紀の海広域施設組合								

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)					歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	7,308,846	29.5	6,997,006	53.4	普通税	7,054,080	96.5	57,074	議会議費	284,890	1.2	-	284,890	
地方譲与税	189,743	0.8	189,743	1.4	法定普通税	7,054,080	96.5	57,074	総務費	2,848,489	11.9	792,517	1,888,976	
利子割交付金	22,747	0.1	22,747	0.2	市町村民税	2,830,780	38.7	57,074	民生費	7,815,195	32.6	66,408	4,312,182	
配当割交付金	76,438	0.3	76,438	0.6	個人均等割	83,307	1.1	-	衛生費	3,440,076	14.4	129,608	2,342,412	
株式等譲渡所得割交付金	36,549	0.1	36,549	0.3	所得割	2,179,624	29.8	-	労働費	14,618	0.1	-	6,393	
地方消費税交付金	554,147	2.2	554,147	4.2	法人均等割	125,644	1.7	-	農林水産業費	731,388	3.1	178,398	306,702	
ゴルフ場利用税交付金	5,797	0.0	5,797	0.0	法人税割	442,205	6.1	57,074	商工費	150,326	0.6	11,598	147,681	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,753,604	51.4	-	土木費	1,937,308	8.1	1,587,148	646,363	
自動車取得税交付金	16,196	0.1	16,196	0.1	うち純固定資産税	3,740,091	51.2	-	消防費	1,204,172	5.0	358,001	849,210	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	130,446	1.8	-	教育費	2,163,614	9.0	546,241	1,647,402	
地方特例交付金	24,939	0.1	24,939	0.2	市町村たばこ税	339,250	4.6	-	災害復旧費	52,174	0.2	-	21,633	
地方交付税	6,098,623	24.6	5,060,474	38.6	釐産税	-	-	-	公債費	3,317,570	13.8	-	3,279,474	
普通交付税	5,060,474	20.4	5,060,474	38.6	特別土地保有税	-	-	-	諸支費	-	-	-	-	
特別交付税	1,038,149	4.2	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	254,766	3.5	-	歳出合計	23,959,820	100.0	3,669,919	15,733,318	
(一般財源計)	14,334,025	57.8	12,984,036	99.2	法定目的税	254,766	3.5	-						
交通安全対策特別交付金	6,025	0.0	6,025	0.0	入湯税	-	-	-						
分担金・負担金	192,603	0.8	-	-	事業所税	-	-	-						
使用料	353,044	1.4	30,285	0.2	都市計画税	254,766	3.5	-						
手数料	143,866	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-						
国庫支出金	3,242,412	13.1	-	-	法定外目的税	-	-	-						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-						
都道府県支出金	1,715,023	6.9	-	-	合計	7,308,846	100.0	57,074						
財産収入	342,592	1.4	67,688	0.5										
寄附金	8,505	0.0	-	-										
繰入金	19,061	0.1	-	-										
繰越金	209,185	0.8	-	-										
諸収入	308,400	1.2	5,386	0.0										
地方債	3,907,900	15.8	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	1,214,600	4.9	-	-										
歳入合計	24,782,641	100.0	13,093,420	100.0										

区分		平成26年度	平成25年度
徴収率(%)	現・計	99.2	96.9
	市町村民税	99.2	97.3
	純固定資産税	99.1	96.5

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,045,107	実質収支	99,060
病院	532,639	再差引収支	-11,906
上水道	55,475	加入世帯数(世帯)	8,923
介護サービス	43,103	被保険者数(人)	15,566
簡易水道	18,856	被保険者	93
国民健康保険	579,679	1人当り	103
その他	1,815,355	保険税(料)収入額	299
		国庫支出金	103
		保険給付費	299

目的別歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会議費	284,890	1.2	-	284,890
総務費	2,848,489	11.9	792,517	1,888,976
民生費	7,815,195	32.6	66,408	4,312,182
衛生費	3,440,076	14.4	129,608	2,342,412
労働費	14,618	0.1	-	6,393
農林水産業費	731,388	3.1	178,398	306,702
商工費	150,326	0.6	11,598	147,681
土木費	1,937,308	8.1	1,587,148	646,363
消防費	1,204,172	5.0	358,001	849,210
教育費	2,163,614	9.0	546,241	1,647,402
災害復旧費	52,174	0.2	-	21,633
公債費	3,317,570	13.8	-	3,279,474
諸支費	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	23,959,820	100.0	3,669,919	15,733,318

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	12,074,769	50.4	8,841,928	8,550,552	59.8
人件費	4,657,752	19.4	4,235,940	3,954,547	27.6
うち職員給	2,606,077	10.9	2,342,936	-	-
扶助費	4,099,454	17.1	1,326,521	1,316,538	9.2
公債費	3,317,563	13.8	3,279,467	3,279,467	22.9
元利償還金	3,316,457	13.8	3,278,361	3,278,361	22.9
内 うち元金	2,929,571	12.2	2,892,976	2,892,976	20.2
訳 うち利子	386,886	1.6	385,385	385,385	2.7
一時借入金利子	1,106	0.0	1,106	1,106	0.0
その他の経費	8,162,958	34.1	6,055,266	4,969,358	34.7
物件費	2,644,817	11.0	1,922,480	1,589,985	11.1
維持補修費	97,376	0.4	88,080	88,080	0.6
補助費等	2,651,495	11.1	1,639,694	1,219,565	8.5
うち一部事務組合負担金	1,488,293	6.2	714,049	525,507	3.7
繰出金	2,456,993	10.3	2,112,559	1,943,703	13.6
積立金	134,524	0.6	125,000	-	-
投資・出資金・貸付金	177,753	0.7	167,453	128,025	0.9
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,722,093	15.5	836,124	-	-
うち人件費	224,681	0.9	185,935	-	-
普通建設事業費	3,669,919	15.3	814,491	-	-
うち補助	1,536,223	6.4	70,574	-	-
うち単独	1,925,177	8.0	717,907	-	-
災害復旧事業費	52,174	0.2	21,633	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	23,959,820	100.0	15,733,318	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

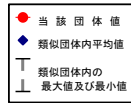
平成26年度 和歌山県海南市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	24,883	23,884	1,000	928	-	33,009	
2 地域排水処理事業特別会計	25	199	6	6	-	-	
3 同和対策住宅資金貸付事業特別会計	23	205	▲183	▲183	5	37	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							

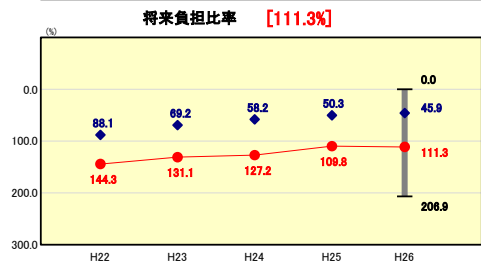
### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	54,100	人(H27.1.1現在)			
うち日本人	53,912	人(H27.1.1現在)			
面積	101.06	km <sup>2</sup>			
歳入総額	24,782,641	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	23,959,820	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	751,081	千円	実質公債費比率	11.3	%
標準財政規模	14,308,338	千円	将来負担比率	111.3	%
地方債現在高	33,045,195	千円	市町村類型	H22 II-1 H23 II-1 H24 II-1	
			(年度毎)	H25 II-1 H26 II-1	



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 将来負担の状況

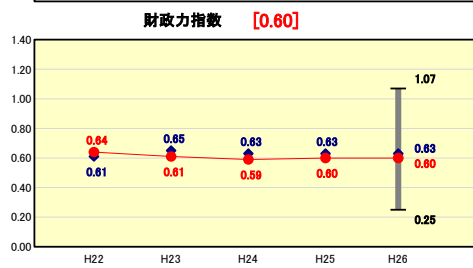


類似団体内順位 173/198 全国平均 45.8 和歌山県平均 80.6

#### 将来負担比率の分析欄

新庁舎整備事業等の大型事業に伴い地方債現在高が増加しており、充当可能財源等(基金現在高)は増加しているものの、前年度と比べ1.5ポイント悪化している。  
 今後も引き続き地方債現在高が増加する見込みであるが、交付税措置がある有利な地方債の活用や、計画的な繰上償還の実施等により、将来負担比率の抑制に努める。

#### 財政力

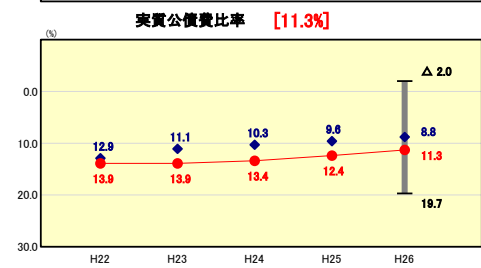


類似団体内順位 110/198 全国平均 0.49 和歌山県平均 0.36

#### 財政力指数の分析欄

社会保障関係費が増加する一方で、人件費や経常経費の抑制等により、前年度と同水準を維持している。  
 今後も、子育て施策の拡充をはじめとした人口増につながる施策に取り組み、市税収入の確保に努めるほか、行政改革プランに基づく総人件費の抑制や、事務事業の見直しなどによる経常経費の節減に努め、財政基盤の強化を図る。

#### 公債費負担の状況

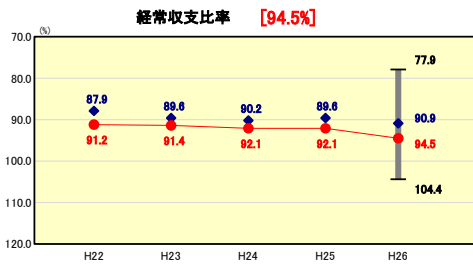


類似団体内順位 142/198 全国平均 8.0 和歌山県平均 10.8

#### 実質公債費比率の分析欄

下津最終処分場等、過去の大規模事業に係る地方債の償還終了や民間資金の繰上償還に伴い、地方債の元利償還金が減少したことに加え、交付税措置がある有利な地方債の活用により、前年度と比べ1.1ポイント改善している。  
 今後、新庁舎整備事業等の大型事業により地方債現在高が増加する見込みであるが、交付税措置がある有利な地方債の活用や、計画的な繰上償還の実施等により、実質公債費比率の抑制に努める。

#### 財政構造の弾力性

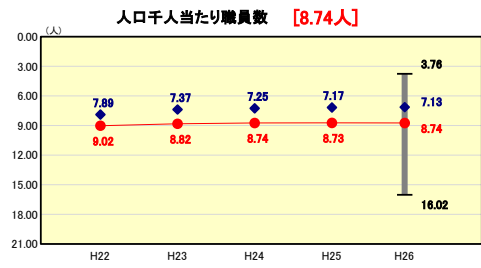


類似団体内順位 158/198 全国平均 91.3 和歌山県平均 94.4

#### 経常収支比率の分析欄

法人市民税や固定資産税の減収に加え、社会保障関係費や公債費の増により、前年度比2.4ポイントの悪化となった。  
 市税収入の確保や、職員定数の適正化をはじめとした更なる行政改革を進めるとともに、公債費をはじめ経常経費の抑制に努める。

#### 定員管理の状況

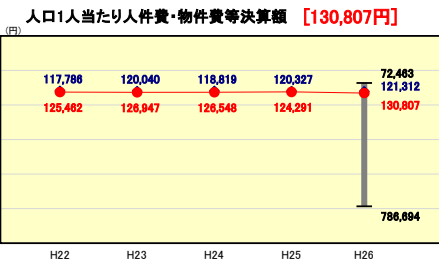


類似団体内順位 157/198 全国平均 8.96 和歌山県平均 8.83

#### 人口千人当たり職員数の分析欄

普通会計にかかる職員数においては類似団体平均を上回っているが、教育・消防部門を除く一般行政部門では、平均以下まで削減を進めており、今後も引き続き職員定数の適正化を図る。

#### 人件費・物件費等の状況

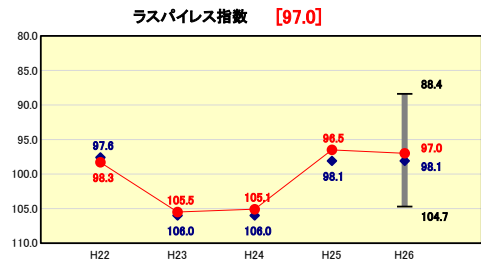


類似団体内順位 152/198 全国平均 119,984 和歌山県平均 133,109

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

国の要請による給与削減措置の終了を受けて、前年度と比べて増加している。  
 今後も引き続き総人件費の抑制や事務事業の見直しによる経常経費の徹底した削減に努める。

#### 給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 59/198 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

#### ラスパイレス指数の分析欄

人事院勧告に準じた給与改定や給与構造改革を実施し、ラスパイレス指数の抑制に努めている。  
 今後も、給与制度全般について見直しを進め、総人件費の抑制に努めるとともに、人事評価制度を充実させ、職務や能力、実績を重視した給与体系を整備していく。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

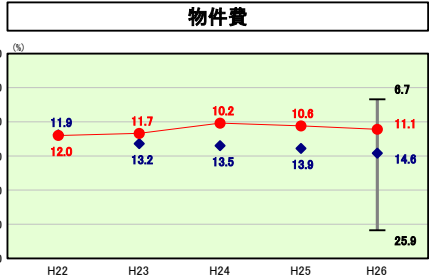
和歌山県海南市

## 経常収支比率の分析

人	54,100	人(H27.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	53,912	人(H27.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	101.06	km <sup>2</sup>	実 質 公 債 費 比 率	11.3	%
歳入総額	24,782,641	千円	将 来 負 担 比 率	111.3	%
歳出総額	23,959,820	千円	市 町 村 類 型	H22 II-1 H23 II-1 H24 II-1	
実質収支	751,081	千円	( 年 度 毎 )	H25 II-1 H26 II-1	
標準財政規模	14,308,338	千円			



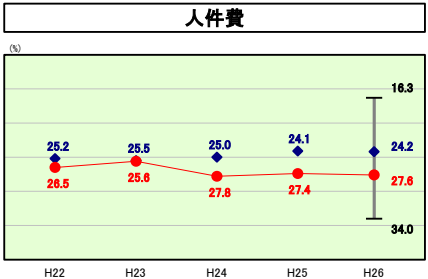
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 25/198 全国平均 14.3 和歌山県平均 13.0

**物件費の分析欄**

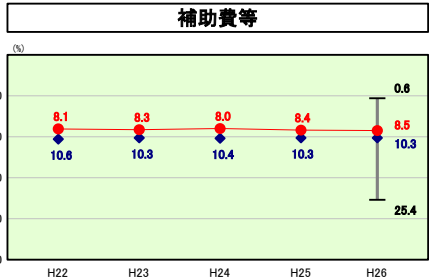
事務事業の見直しや枠配分方式による予算編成により物件費総額の抑制に努めているものの、消費税率引上げ等に伴い経常経費が増加し、前年度と比べて0.5ポイント悪化した。類似団体平均を下回っているが、今後も引き続き、経常経費の抑制に努める。



類似団体内順位 166/198 全国平均 23.8 和歌山県平均 25.5

**人件費の分析欄**

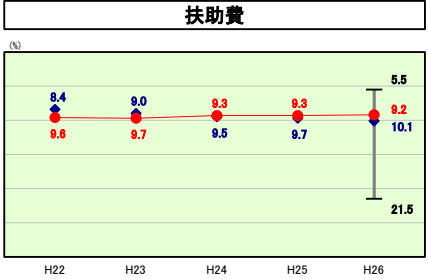
行政改革プランに基づく徹底した取り組みにより、合併前(平成16年度)と比べ約25%の職員を削減するとともに、給与制度の見直しを進めてきた。平成24年度より、従来物件費に計上していた非常勤職員の賃金等を人件費に計上したことにより類似団体平均を3.4ポイント上回っているが、今後も新規採用の抑制や組織・機構の見直し、民間委託等を進め、総人件費の抑制に努める。



類似団体内順位 64/198 全国平均 10.1 和歌山県平均 9.2

**補助費等の分析欄**

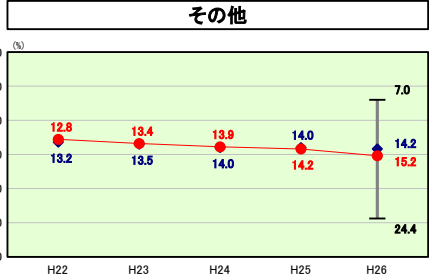
平成21年度から実施している補助金の見直し等により、類似団体平均を下回っているが、病院事業会計に対する負担金等の増加に伴い、前年度と比べて0.1ポイント悪化した。今後も、各種団体への補助金等を継続的に見直すことにより、経常経費の抑制に努める。



類似団体内順位 60/198 全国平均 11.7 和歌山県平均 9.7

**扶助費の分析欄**

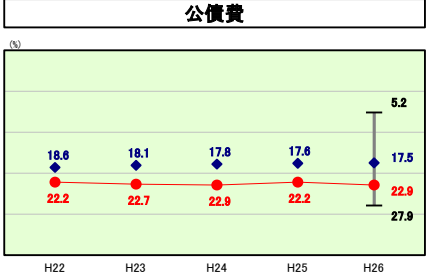
障害者自立支援給付費が増加する一方で生活保護費が減少し、前年度比0.1ポイントの減となっている。類似団体平均を下回っているものの、今後も障害者自立支援給付や子育て支援にかかる経費の増加が見込まれることから、市独自制度の見直しを検討する必要がある。



類似団体内順位 128/198 全国平均 13.2 和歌山県平均 16.0

**その他の分析欄**

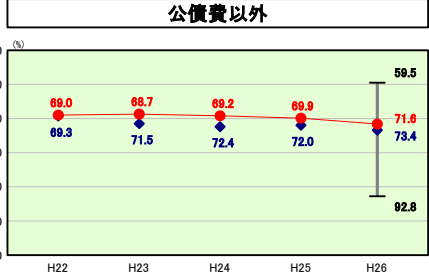
介護保険特別会計への繰出金が増加傾向にあり、類似団体平均とほぼ同水準で推移している。今後も引き続き経常経費の抑制に努める。



類似団体内順位 181/198 全国平均 18.2 和歌山県平均 21.0

**公債費の分析欄**

新庁舎整備事業等、大型事業の実施に伴い増加しており、依然として類似団体平均を上回っている。今後も公債費の増加が見込まれる中、事業のさらなる選択と集中により地方債の発行を抑制するほか、繰上償還を計画的に実施することにより、将来の公債費負担の抑制に努める。



類似団体内順位 72/198 全国平均 73.1 和歌山県平均 73.4

**公債費以外の分析欄**

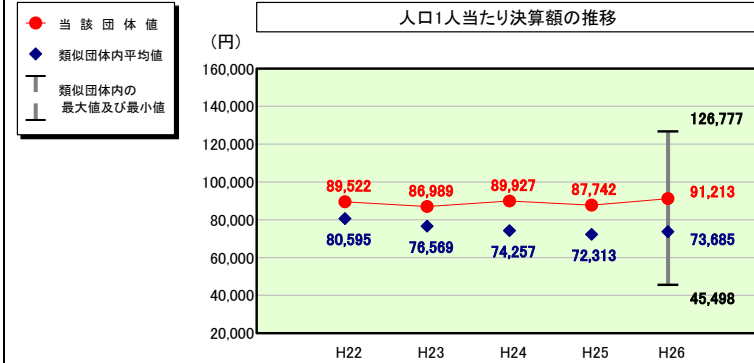
前年度と比べ1.7ポイント悪化したものの、類似団体平均を1.8ポイント下回っている。今後も引き続き枠配分方式による予算編成や事務事業の見直しを継続することにより経常経費全体のさらなる縮減に努め、経常収支比率の抑制を図る。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

和歌山県海南市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



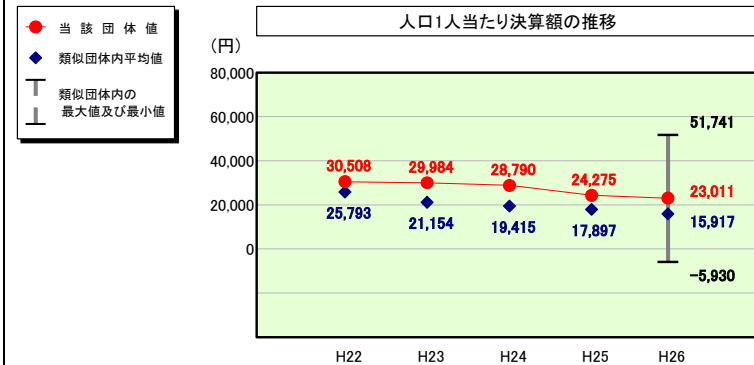
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,657,752	86,095	65,114	32.2
賃金(物件費)	51,837	958	4,538	▲78.9
一部事務組合負担金(補助費等)	38,554	713	5,513	▲87.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	269,589	4,983	953	422.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	240,178	4,440	2,887	53.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	224,681	4,153	1,642	152.9
▲退職金	▲547,952	▲10,129	▲6,965	45.4
合計	4,934,639	91,213	73,685	23.8

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.74	7.13	1.61
ラスパイレス指数	97.0	98.1	▲1.1

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

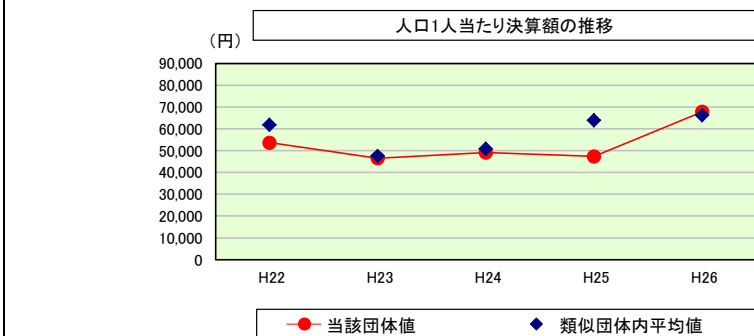


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,316,457	61,302	43,359	41.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	150,824	2,788	11,806	▲76.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	219,793	4,063	1,910	112.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,129	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲239,665	▲4,430	▲5,126	▲13.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲2,202,493	▲40,712	▲37,205	9.4
合計	1,244,916	23,011	15,917	44.6

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

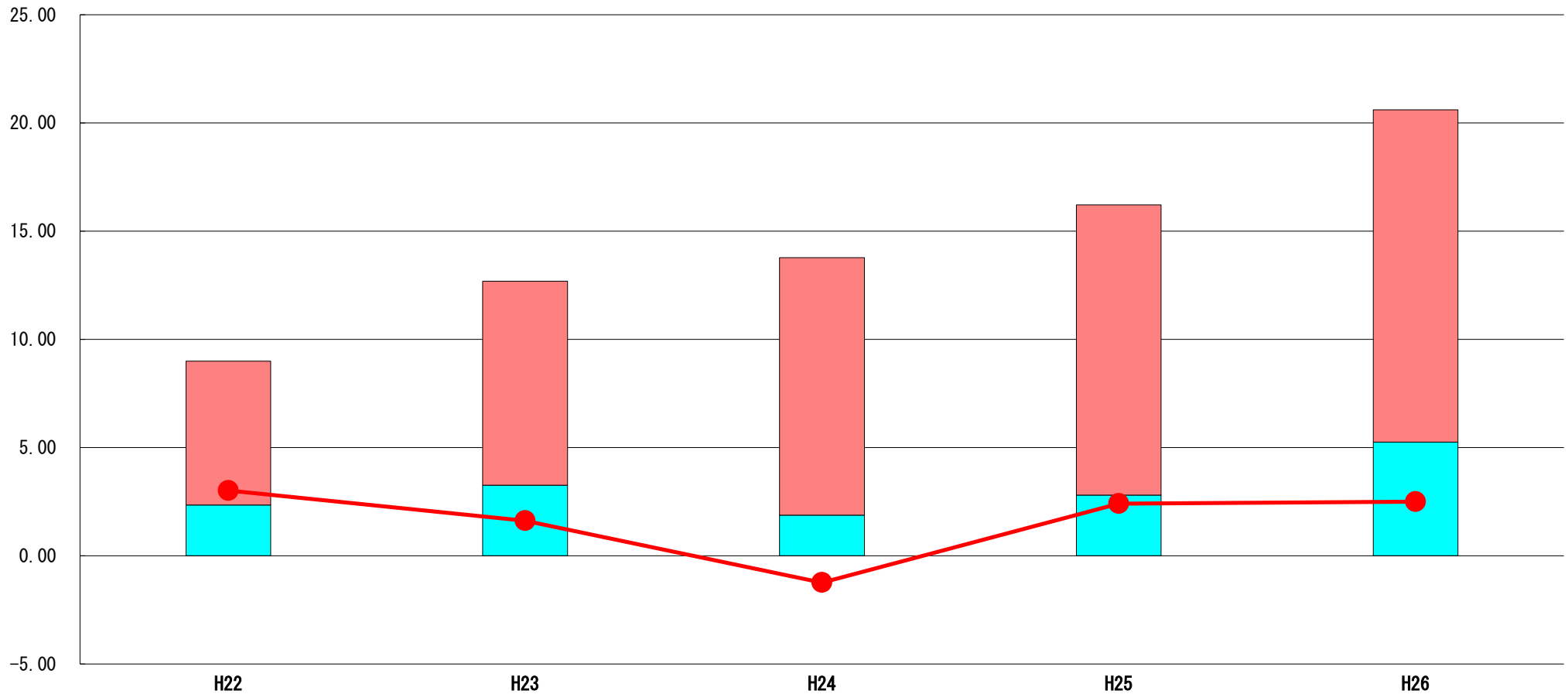
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H22	3,014,995	53,620	▲48.2	61,882	6.7	▲54.9
うち単独分	1,683,707	29,944	▲64.4	32,175	0.0	▲64.4
H23	2,586,713	46,543	▲13.2	47,569	▲23.1	9.9
うち単独分	1,417,582	25,507	▲14.8	26,255	▲18.4	3.6
H24	2,715,702	49,162	5.6	50,880	7.0	▲1.4
うち単独分	1,231,493	22,294	▲12.6	26,879	2.4	▲15.0
H25	2,597,469	47,366	▲3.7	63,956	25.7	▲29.4
うち単独分	1,083,549	19,759	▲11.4	29,239	8.8	▲20.2
H26	3,669,919	67,836	43.2	66,255	3.6	39.6
うち単独分	1,925,177	35,586	80.1	31,822	8.8	71.3
過去5年間平均	2,916,960	52,905	▲3.3	58,108	4.0	▲7.3
うち単独分	1,468,302	26,618	▲4.6	29,274	0.3	▲4.9

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成26年度

和歌山県海南市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		6.65	9.43	11.90	13.41	15.35
 実質収支額		2.34	3.26	1.87	2.80	5.25
 実質単年度収支		3.01	1.62	▲ 1.24	2.41	2.50

## 分析欄

市税収入は依然として低調で推移しているものの、経常経費の抑制等により、実質収支比率はプラスで推移しており、決算剰余金の一部を財政調整基金に積み立てることで基金残高も増加している。

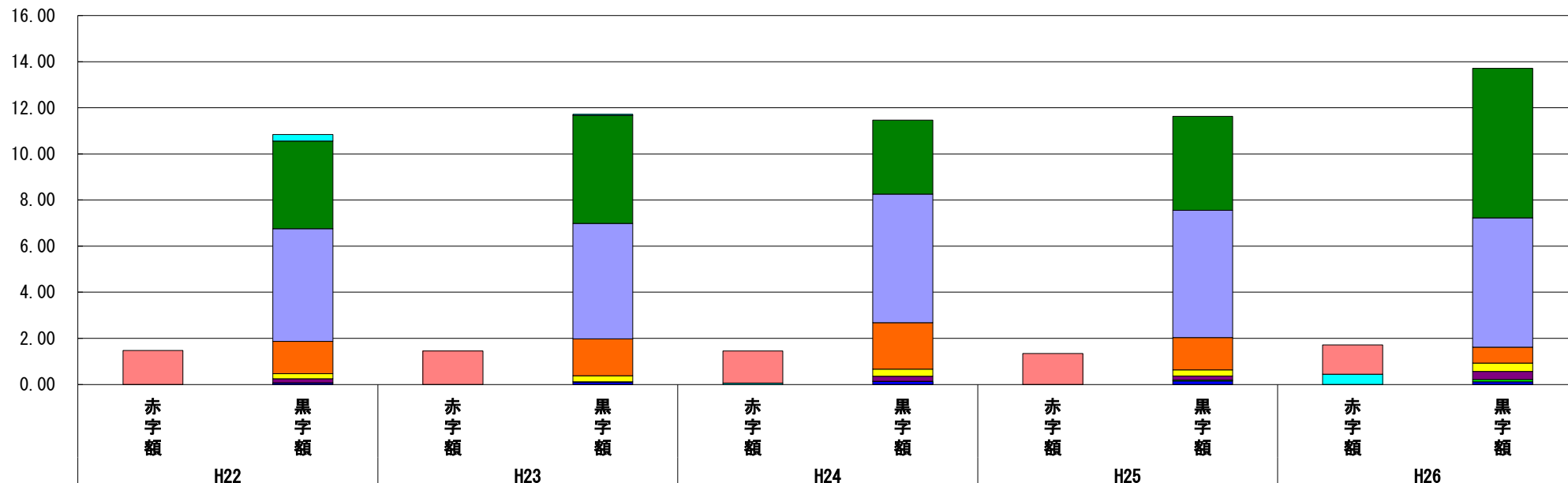
今後も、行政改革プランに基づく総人件費の抑制をはじめ、徹底した歳出削減に取り組むとともに、子育て支援施策の拡充や定住促進の取組をはじめとした人口増につながる施策を実施するとともに、さらなる財源確保に取り組み、持続可能な行財政運営に努める。

## (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

和歌山県海南市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
同和对策住宅資金貸付事業特別会計		▲ 1.48	▲ 1.45	▲ 1.39	▲ 1.34	▲ 1.27
病院事業会計		0.28	0.05	▲ 0.06	0.00	▲ 0.45
一般会計		3.80	4.68	3.20	4.07	6.48
水道事業会計		4.89	5.01	5.58	5.53	5.61
国民健康保険特別会計		1.40	1.60	2.02	1.40	0.69
簡易水道事業特別会計		0.22	0.26	0.30	0.26	0.37
介護保険特別会計		0.18	0.02	0.22	0.18	0.35
港湾施設事業特別会計		0.00	0.00	0.01	0.04	0.09
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.07	0.10	0.13	0.15	0.12

### 分析欄

平成26年度については、一般会計において、前年度の海南市土地開発公社債務の代位弁済の皆減に加え、過去の大型事業に係る地方債償還の終了や民間資金の繰上償還に伴い公債費が減少し、前年度比べ2.41ポイント改善した。

一方、国民健康保険特別会計において、医療給付費の増加に伴い前年度比0.71ポイントと大きく悪化、また、病院事業会計において公債費の増加に伴い資金不足が発生しており、ともに収支改善が大きな課題となっている。

また、同和对策住宅資金貸付事業特別会計においては、前年度に引き続き貸付金の未収による赤字となったが、徴収努力により前年度と比べ0.07ポイント改善した。

今後も、徹底した歳出削減、さらなる財源確保に取り組み、持続可能な行財政運営に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

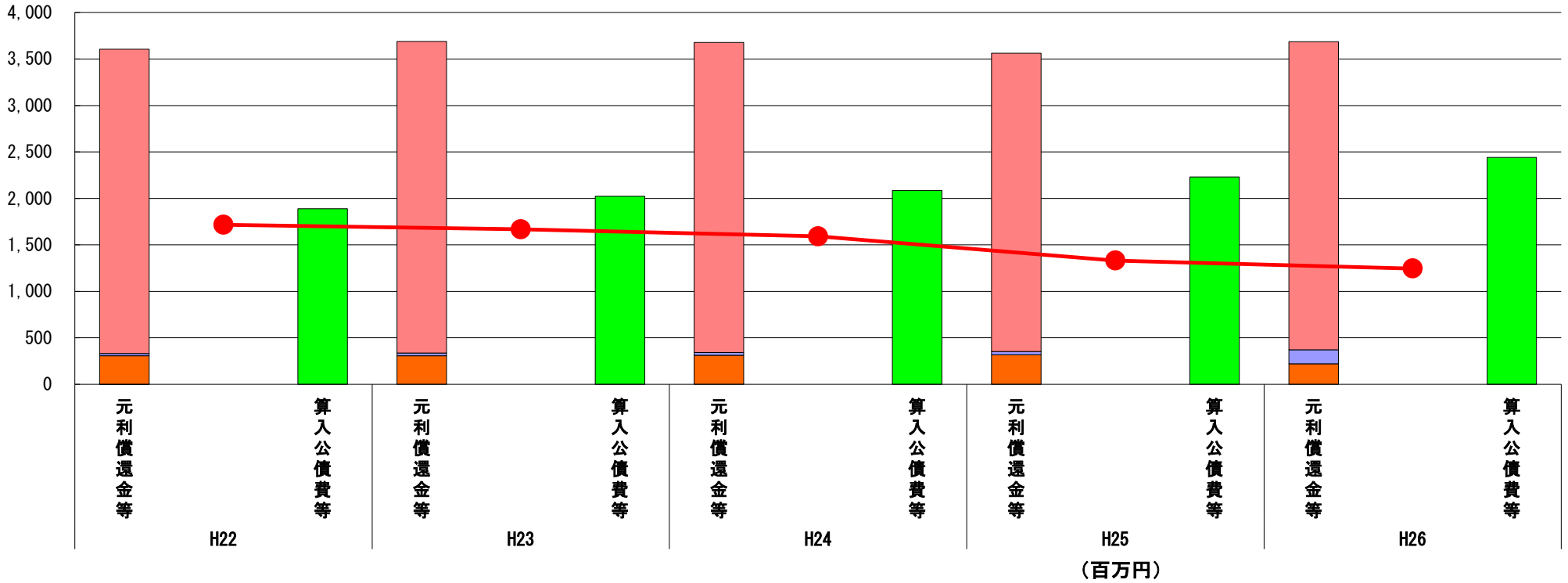


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

和歌山県海南市

(百万円)



分子の構造		年度				
		H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金	3,275	3,354	3,336	3,208	3,316
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	23	28	29	34	151
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	306	308	312	319	220
	債務負担行為に基づく支出額	-	-	-	-	-
	一時借入金の利子	1	0	0	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	1,889	2,023	2,086	2,230	2,442
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	1,716	1,667	1,591	1,331	1,245

**分析欄**

平成26年度においては、海南市土地開発公社債務の代位弁済に係る第三セクター等改革推進債の償還開始等により、元利償還金が前年度比で約1.1億円増加したものの、合併特例債や臨時財政対策債の公債費に占める割合の増加等により、算入公債費が約2.1億円増加し、実質公債費比率の分子は約9,000万円の減額となった。この結果、単年度の実質公債費比率は前年度と比べ0.6ポイント改善し、三カ年平均では前年度と比べ1.1ポイント改善した。

今後、新庁舎整備事業等の大型事業により公債費が増加する見込みだが、交付税措置がある有利な地方債の活用や、計画的な繰上償還の実施等により、実質公債費比率の抑制に努める。

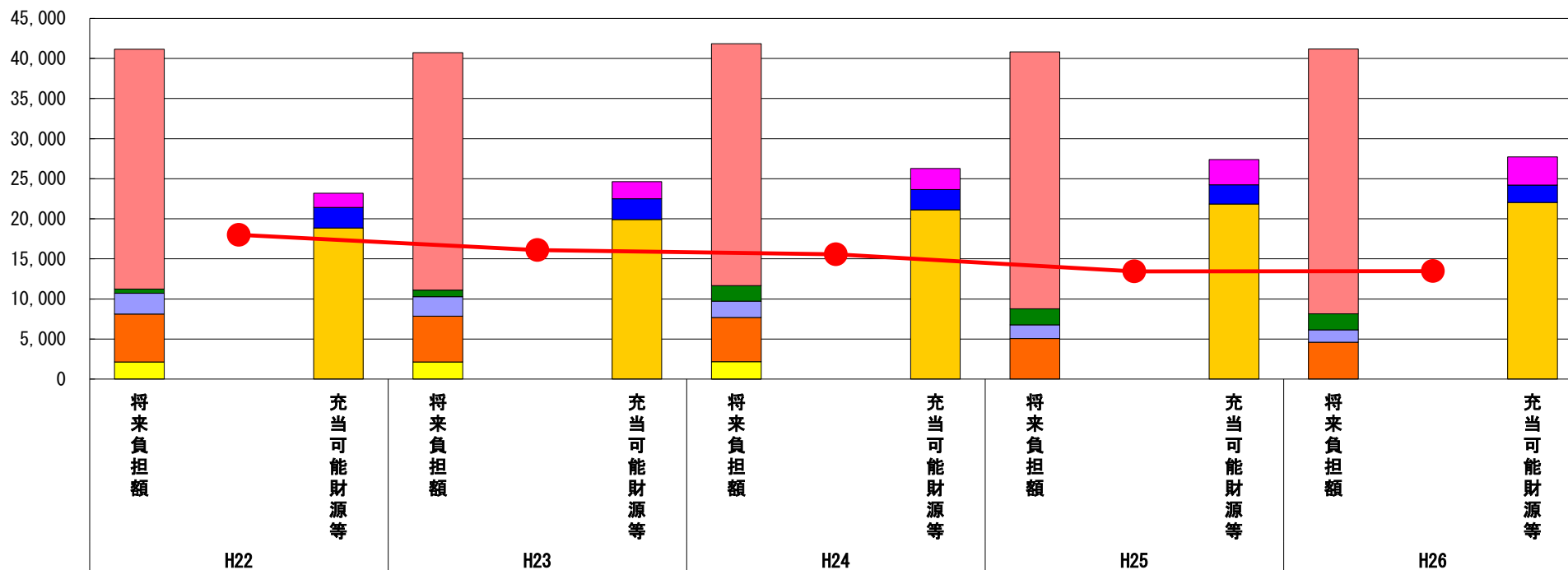
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

和歌山県海南市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		29,940	29,626	30,181	32,067	33,045
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		512	808	1,929	2,000	2,005
	組合等負担等見込額		2,603	2,419	2,067	1,715	1,536
	退職手当負担見込額		5,962	5,714	5,504	5,051	4,597
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,145	2,153	2,163	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	6	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,754	2,132	2,644	3,171	3,491
	充当可能特定歳入		2,569	2,582	2,523	2,385	2,164
	基準財政需要額算入見込額		18,854	19,913	21,123	21,850	22,053
(A) - (B)	将来負担比率の分子		17,986	16,093	15,560	13,427	13,476

### 分析欄

紀の川市・紀美野町と共同で整備する広域ごみ処理施設建設事業等の大型事業により、地方債発行額が増加傾向にあり、将来負担額は前年度比で約3.5億円の増となっている。

一方で、財政調整基金や減債基金の新規積立により充当可能基金が増加していることに加え、地方債現在高に占める合併特例債や臨時財政対策債の割合が増えたことにより基準財政需要額算入見込額が増え、充当可能財源等は前年度比で約3億円の増となっている。

結果として、将来負担比率の分子は前年度比で約5,000万円の増となり、前年度比1.5ポイント悪化した。

今後も新庁舎整備事業等の大型事業が控えており、交付税措置がある有利な地方債の活用や、計画的な繰上償還の実施等により、将来負担比率の抑制に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。